



2025年8月27日

日本鉄道労働組合連合会

J R グループ 労組連絡会 第 33 回 総会

海上弓彦氏 (JR西日本連合) を新代表幹事に選出！

J R グループ 労組連絡会は 8 月 22 日、大阪市内で第 33 回総会を開催し、向こう 1 年間の活動方針を決定するとともに、新たに海上弓彦氏 (J R 西日本連合・ジェイアール西日本伊勢丹労働組合) を代表幹事とする新体制を確立した。



上村会長

奥村代表幹事

幹事会を代表してあいさつした奥村敬弥代表幹事 (J R 東海連合・東海交通事業労働組合) は、「安全の確立」「春季生活闘争」「組織強化・拡大」について所信を述べ、「分科会活動を有効に活用し、全単組が一丸となって諸活動に邁進しよう」と呼びかけた。

また、J R 連合を代表してあいさつした上村良成会長は、最近の J R 連合の取り組みを紹介するとともに、「業種毎の政策課題解決を通じて、組合員の幸せ実現と産業の発展に全力を尽くす」との決意を述べた。



海上新代表幹事

総会の途中で開催した分科会別討議では、業種毎に 9 つの分科会に分かれて「政策課題の抽出」を行うべく議論を展開した。各分科会からは「安全の確立」「人財の確保」「業務上の問題」などの課題が示され、様々な解決策が提案されるとともに、多くの分科会から価格転嫁が求められ、その原資となる鉄道運賃見直しの必要性が訴えられた。

議事では住吉一家事務局長 (J R 連合労働政策局長) が提起した運動方針案を満場一致で決定するとともに、活動を牽引する新幹事会体制を確立。新たに代表幹事に就任した海上氏は「仲間との意見交換を積み重ね、J R グループ 労組連絡会と J R 連合の運動を更に前進させよう」と訴えた。

